

平成30年度小・中学校教育課程研究協議会

## 特別活動（小・中）



福島県教育委員会

# 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、**行動の仕方を身に付ける**ようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成を図ったり、意思決定したり**することができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の(小)/人間としての(中)生き方についての考えを深め、**自己実現を図ろうとする態度を養う**。

## 改訂の趣旨

- (1) 教育課程全体における**特別活動の役割や機能**を明らかにする。
- (2) 内容や指導の**プロセスを構造的に整理**し、各活動の関係性や意義、役割を理解した上で実践できるようにする。
- (3) 社会の変化や要請も視野に入れ、各教科等の学習と関連付けながら、特別活動において育成を目指す**資質・能力**を示す。

# 改訂の要点①

## (1) 目標の改善

### ① 三つの柱に沿った目標整理

三つの視点「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を手がかりとして

### ② 資質・能力を育成するための学習の過程の明示

「様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の解決をすることを通して」

### ③ 特別活動の見方・考え方

「集団や社会の形成者としての見方・考え方」

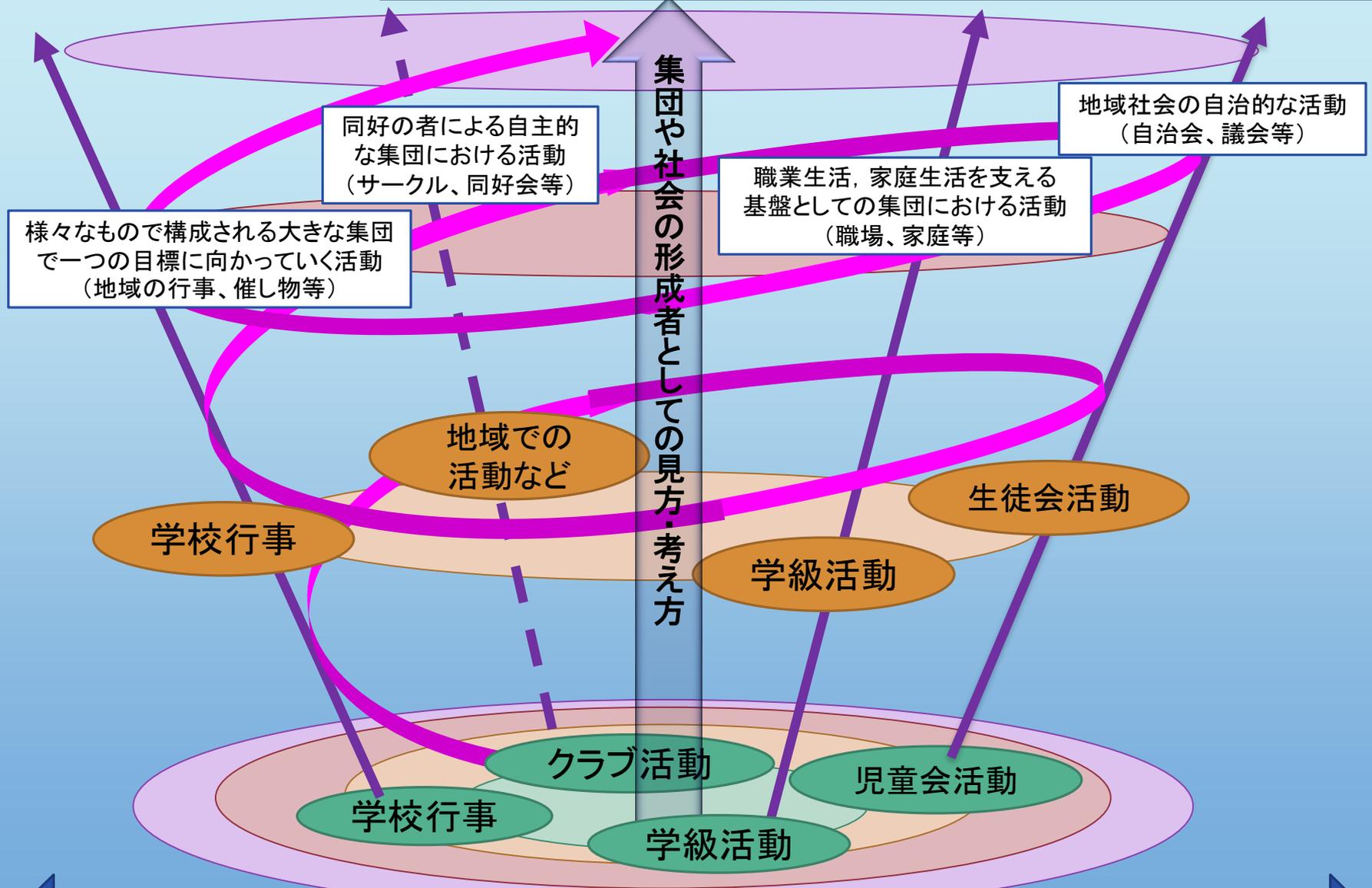
# 特別活動における各活動の整理と社会の形成者としての「見方・考え方」

社会人 大学生  
高校生  
中学生  
小学生  
園児

社会の形成者としての見方・考え方

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や参画及び自己の実現に関連付けること

集団や社会の形成者としての見方・考え方



社会 地域 学校 学年 学級 身の回り 学級 学年 学校 地域 社会

# 改訂の要点②

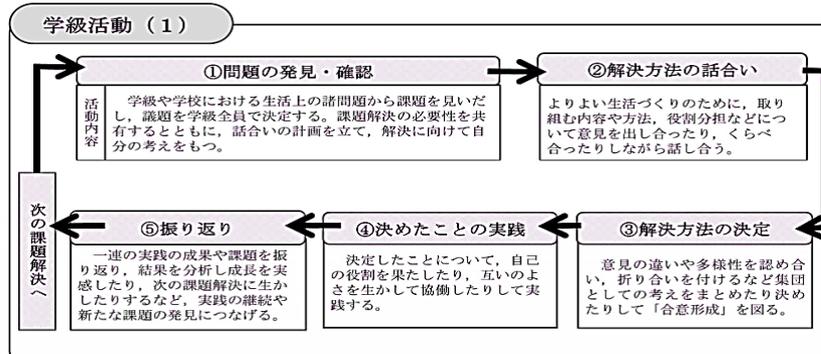
## (2) 内容構成の改善

### ① 学習過程(指導過程)の例示

	学級活動(1)	学級活動 (2)(3)	児童会・ 生徒会活動	クラブ活動	学校行事
小学校 学習過程	解説P.44 P.69	解説P.45 P.69	解説P.85 P.94	解説P.102	解説P.117
小学校 指導過程	解説P.72	解説P.73 P.74			
中学校 学習過程	解説P.42	解説P.43	解説P.72		解説P.90

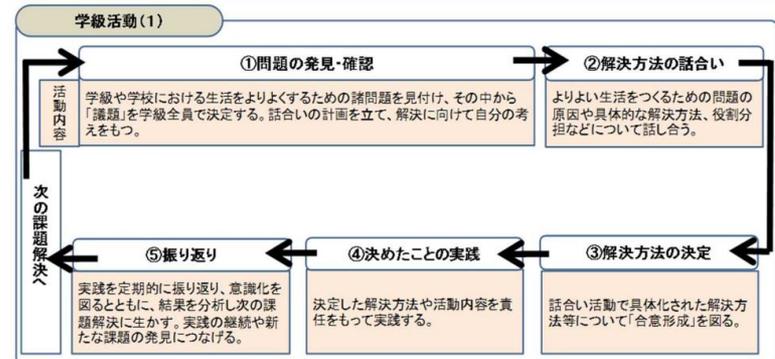
#### 小学校 P.44

学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程(例)



#### 中学校 P.72

学級活動(1)における学習過程(例)



## 改訂の要点③

### (2) 内容構成の改善

#### ② 小学校学級活動(2)、(3)の項目の整理(解説P.46)

「(2) 日常の生活や学習への適応と自己成長及び健康安全」

ア 基本的な生活習慣の形成

イ よりよい人間関係の形成

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の活用

# 改訂の要点④

## (2) 内容構成の改善

### ③ 中学校学級活動(2)、(3)の項目の整理(解説P.43~44)

「(2) 日常の生活や学習への適応と自己成長及び健康安全」

- ア 自他の個性の理解と尊重, よりよい人間関係の形成
- イ 男女相互の理解と協力
- ウ 思春期の不安や悩みの解決, 性的な発達への対応
- エ **心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成**
- オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」

- ア **社会生活, 職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館の利用**
- イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- ウ 主体的な進路の選択と将来設計

## 改訂の要点⑤

### (3) 内容の改善・充実

	小学校	中学校
学級活動(1)	集団としての合意形成を行うこと	
学級活動(2)(3)	一人一人の意思決定を行うこと	
児童会・ 生徒会活動	児童生徒が主体的に組織をつくること	
	異年齢集団交流重視	ボランティア等の 社会参画重視
学校行事	健康安全・体育的行事の中で 事件や事故、災害から身を守ること	
	自然の中での 集団宿泊活動重視	職場体験等の 体験活動重視

特別活動は学校教育全体を通して行うキャリア教育の要。今後、活動の過程を記述し振り返ることができる教材等の作成とその活用が求められる。

## 改訂の要点⑥

### (4) 学習指導の改善・充実

#### ① 特別活動の深い学び

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、**等しく合意形成に関わり役割を担うことを重視**

#### ② 学級経営の充実

#### ③ **いじめの未然防止**を含めた生徒指導との関連

**ガイダンスとカウンセリング**の双方の趣旨を踏まえた指導の実施

#### ④ 他者との交流や対話の充実

障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習など

## 主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント①(注1)

### 特別活動における主体的・対話的で深い学びの実現とは

- ① 各活動・学校行事の学習過程において授業や指導の工夫改善を行うことで、一連の活動過程の中で**質の高い学びを実現すること**
- ② 特別活動の各活動・学校行事の内容を深く理解し、それぞれを通して**資質・能力を身に付け、小学校・中学校卒業後も能動的に学び続けるようにすること**

(注1) 主体的・対話的で深い学びについては、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(中央教育審議会平成28年12月21日答申)」も参考とした。

## 主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けたポイント②

「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の実現に向けた授業改善のポイント

	小学校	中学校
主体的な学び	活動の内容や形態を児童が選択・決定する余地を大切にすること	活動の内容を生徒が選択・決定すること
	活動に必要な資料や情報等を児童生徒が集め、活動の結果や成果についても自らで振り返り評価すること	
対話的な学び	友達との考えの違いを認め、友達の考えの意味を考え、それぞれの考えをつなぎながら、新たなものを全員で生み出すようにすること	他者の考えを認め、自他の考えをつなぎながら、新たなものを構成員全員で生み出すようにすること
深い学び	学級全員で役割を担い、決めたことの実践が学級全員のものになるようにすること	学級全員で役割を担い、決めたことを実践できるように学習の過程を綿密に構想した年間指導計画を作成すること
	一連の実践過程で、見方・考え方を総合的に働かせ、各教科で学んだ知識や技能などを、集団及び自己の問題の解決のために活用していくようにすること	
	学習過程において、どのような資質・能力を育むことが必要なのかを明確にした上で、意図的・計画的に指導に当たること	

# 新教育課程編成・実施のポイント③ チェック 10

## ポイント ① 特別活動全体計画を作成する。

1-1 地域の特色、学校や児童生徒の実態、これまでの実施の経験や反省を生かしていますか？

1-2 全教職員の共通理解と協力体制が確立できるように、全職員で作成しましたか？

チェック欄

## ポイント ② 学校としての年間指導計画を作成する。

2-1 学校や児童生徒の実態を把握し、**目指す資質・能力を明確に**しましたか？

2-2 児童生徒の**発達の段階や系統性(幼・小・中の接続)**等を考慮しましたか？

2-3 学校や児童生徒の**実態及び各学年の内容に応じて時数を配当**しましたか？

2-4 学級活動の内容として示された項目(**小学校10項目、中学校11項目**)全てを位置付けましたか？

2-4 各教科、道徳科、総合的な学習の時間などの指導との関連を図りましたか？

2-5 具体的な評価の観点、評価の場や時期、方法を明確にしましたか？

## ポイント ③ 学級ごとの年間指導計画を作成する。

3-1 児童生徒の活動過程や形態等の見通しを明らかにしましたか？

3-2 ポートフォリオ的な教材などを活用するなど、児童生徒の評価のさせ方を工夫しましたか？

## 改訂

「(2) 日常の生活や学習への適応と自己成長及び健康安全」

- ア 基本的な生活習慣の形成
- イ よりよい人間関係の形成
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」

- ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
- ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

## 現行

「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」

- イ 基本的な生活習慣の形成
- ウ 望ましい人間関係の形成
- カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

- ア 希望や目標をもって生きる態度の形成
- エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- カ 学校図書館の利用

改訂

「(2)日常生活や学習への適応と自己成長及び健康安全」

- ア 自他の個性の理解と尊重, よりよい人間関係の形成
- イ 男女相互の理解と協力
- ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
- エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」

- ア 社会生活, 職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- ウ 主体的な進路の選択と将来設計

現行

「(2)適応と成長及び健康安全」

- イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- オ 望ましい人間関係の確立
- エ 男女相互の理解と協力
- ア 思春期の不安や悩みとその解決
- ク 性的な発達への適応
- キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

「(3)学業と進路」

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
- エ 望ましい勤労観・職業観の形成
- (2)ウ 社会の一員としての自覚と責任
- (2)カ ボランティア活動の意義の理解と参加
- オ 主体的な進路の選択と将来設計
- ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用